

政治姿勢



大友 健

問 22年度の予算は、市長選があるが、骨格予算なのか本格予算なのか。

市長 新総合計画等で位置付けられたものとか、しっかり予算化します。その意味では通常の予算編成です。

問 選挙がある場合は、骨格が普通。骨格でないということは、次の選挙にも出るといえることか。

市長 今の時点では、次どうこうより、任期いっぱい頑張るといえることです。

多選志向だったのか？

問 「2期やらせてください」の意味は「まず2期8年で自分のカラーを出したい」と答弁したが、これは多選志向だったのか。

市長 選挙公報とか選挙はがきに書いていませんが、何力所かの個人演説会で話しました。1期4年では課題は解決できないので「ま

ずは2期8年」と。そういう単純な考えで話しました。

問 一般の人は「2期で辞める」と受け取ったが、なぜだと思うか。

市長 分かりません。他意はありません。

問 米大統領選を例に出したからではないか。3選が禁じられている。普通の人には「2期」と受け取った。

市長 そういう発言を何力所かでした。毎回、選挙で審判を受けるのであり、特別どうこうでなく、お願いしたい一心でした。

岩沼市の財政見直し



岩戸 幸次

問 自主財源の推移をどのように分析しているか。

市長 自主財源のうちかなりの部分を占めるのは市税で、20年度以降の景気後退によって法人市民税・個人市民税が減収になると見込まれます。固定資産税も土地価格が下落傾向にあり、

償却資産も大規模な整備投資は見込めない状況です。

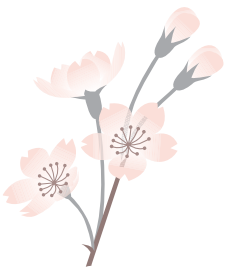
依存財源の見直しは

問 依存財源をどのように分析しているか。また、今後の対応について

市長 道路特定財源の暫定税率廃止で、譲与税は相当影響があります。交付税も税収の落ち込みが相当あるという深刻な状況で増額は相当難しいと考えます。

問 一般会計から特別会計や公営企業会計への繰入金に依存することなく、料金改定や受益者負担について、市長が思っていることはあるか。

市長 利益を受ける人に受益者として税金以外に負担をしていただくことは基本的に必要と考えますが、一方では、行政サービスという部分も考えていく必要があると思います。暮らしや命にじかにかかわる部分は、一般会計での負担も大切だと思います。



子どもたちの社会参画



布田 一民

問 市では、子どもたちの社会参画を促進する重要なきっかけが広がるような評価ができるものはありますか。

市長 具体的にどんな場があるのか、具体的に今挙げられません。しかし、子育て支援という中では、相当な機会を設けています。子どもたちがどのようなことを考え、望んでいるかを、教育委員会だけでなく、市長部局も、一層努力をしていきます。

夢に向けての実践は

問 自分自身の人生に参加していくという意欲と力をしっかりと持つ、そうした生涯学習をしていける力を持つことが大切ではないかと思う。社会貢献も含めて、参画の実践を今後していくのか。

教育長 今ある学校教育での事業をさらに充実してい

きたいと思いません。

問 子どもたちの意見をよく聞き、それを実践する。そうすることで、子どもたちが、誇りを持ち、愛着が持てるようなまちになるのではないか。そのような機会づくりが必要でないか。

市長 市として何らかの対応が必要だとすれば、これについて、十分に研究はしてみます。

いわぬブランドの確立



大友 克寿

問 このたび設立された「いわぬまブランド確立推進協議会」は、誰が、何を、いつまで、どのように行うのか伺う。

市長 岩沼市とJA、商工会、竹駒神社、JR等の代表者で、岩沼市の産品、気候、風土、景観、歴史等によるイメージを基礎に、任期2年の期間内に、いわぬまブランドの方向付けを示していきたい。